

# 令和5年度 学校評価書(自己評価・学校関係者評価)

県立新庄南高等学校金山校

育てる生徒像	①思いやりがあり、明朗で協調性のある生徒 ②郷土に愛着を持ち、地域に役立とうとする生徒 ③学習と部活動の両立により心身を鍛え、主体的に学ぶ意欲的な生徒
--------	--

重点目標	1 中学校との連続性を強化し自ら学ぶ力を生きていく力につなげる。
	2 キャリア形成環境をつくり、生徒の意欲を協働に、協働を探究につなげる。
	3 交流活動を活性化させ、人と人との関わりを成長につなげる。
	4 魅力ある開かれた学校づくりを推進する。

達成度	A	達成
	B	概ね達成
	C	やや不十分
	D	不十分

自己評価							学校関係者評価	
番号	評価項目	具体的方策	達成度	達成状況	評価指標	次年度への課題・改善策	評価	意見・要望等
1	自ら学ぶ力を生きていく力につなげる	(1)疑問を持つ予習と定着させる復習を確立して、知識と技能を身につけさせる。	C	2.8	4段階自己評価の平均3.0以上	平均3.0未満の達成状況で課題が多い。生徒アンケートや保護者アンケートの結果も、評価が比較的低い項目であった。ICT活用を含めた授業研究の更なる深化と充実を目指す。	D	基本的なことなので毎日少しづつできる勉強方法を考えて学ぶことを目指してほしい。ICTを授業に活用していくことは重要である。情報を活用する能力を身につけさせる事が大事。 達成状況が低いとなれば、項目自体の見直しが必要ではないか。
		(2)中学校との連続性のある学習アプリを導入し、自ら学ぶ力を育成する。	D	2.2				
		(3)授業とホームルームで、生徒自身のメタ認知(自分の認知を一段高次から認知する)を支援する。	C	2.8				
		(4)中学校のICT活用授業を調査研究し、教科書を十分活用した学習と授業を目指す。	C	2.9				
2	生徒の意欲を協働、協働を探究につなげる	(1)新しい価値観や考え方に会える機会を充実させ高い志を育成する。	B	3.2	4段階自己評価の平均3.0以上	金山校の良さ(小規模校・少人数)については、生徒及び保護者からのアンケートでも評価が高かった。最上學・卒業研究や金山タイム等について、今年度出された課題の改善策を次年度に活かす。	A	子どもたちが活躍して楽しい生活だと思える機会をたくさんつくってほしい。最上學や金山タイムの研究発表を町長や紙面で知ってもらえる場が増えることを期待する。少人数教育の良さが現れている評価だと思う。
		(2)小規模校・少人数の良さを生かし、一人一人が活躍できる場をつくる。	A	3.8				
		(3)最上學・卒業研究における、追究活動と発表活動を改善し探究サイクルを強化する。	B	3.4				
		(4)進路目標を達成できる実感を育てながら、真剣に向き合い、乗り越えることができる環境をつくる。	B	3.1				
3	人と人との関わりを成長につなげる	(1)「時間を守る、整理整頓、元気な挨拶」を学校生活の日常とさせ、社会的資質・能力を育成する。	B	3.1	4段階自己評価の平均3.0以上	(1)の社会的な資質・能力を育成するため、「時間を守る、整理整頓、元気な挨拶」の指導を意識しながら行う。また、(4)の校外地域貢献活動の日常化を支援するため、金山町との連携を強化する。	B	学校外と係る場面に有効に活用してほしい。地域や地区行事に参加し、ボランティア精心を高めることで人とのつながりが増す。高齢者世帯の除雪ボランティアのような活動を増やしてはどうか。町のイベントに学校全体で参加することで成長につながるのではないかと。
		(2)元気な学校行事と部活動を取り戻し、学校生活を豊かな充実したものにする。	B	3.0				
		(3)あらゆる機会です「自分と他の人の大切さを認める」という人権尊重の精神を貫いた教育を行う。	B	3.3				
		(4)校外地域貢献活動の日常化を支援し、多様な人々との関わりの中で育つ環境を提供する。	B	3.2				
4	魅力ある開かれた学校づくり	(1)「中学生との学校活動連携プロジェクト」で金山中との連携を強化するとともに、金山町の協力による学校魅力化を推進する。	B	3.1	4段階自己評価の平均3.0以上	今年度より開始された「中学生との学校活動連携プロジェクト」により多くの中高生が参加できるよう、教職員の業務の見直しを図りながら内容の吟味を進める。	B	中学生と高校生の活動をもっと保護者や町の人に情報を発信してほしい。学校からの発信だけでなく町公式HPやラインなどで情報を共有できれば良い。金山町だから実践できることもたくさんあると信じている。
		(2)生徒や保護者、中学生等に「伝わり、届く」情報発信を推進する。	B	3.0				
		(3)安全と安心をベースに生徒の学びと教師の働きを支える学校施設設備の整備・管理を推進する。	B	3.3				
		(4)教職員の時間外勤務時間を削減できるように業務の見直しを図る。	B	3.1				

学校関係者評価基準	A:十分評価できる B:まずまず評価できる C:一部見直しが必要である D:根本的な見直しが必要である ①評価指標(自己評価の平均3.0)及び評価基準(A=3.5以上、B=3.0以上、C=2.5以上、D=2.5未満)
-----------	---

学校関係者評価を踏まえた改善点等	・生徒一人ひとりの自ら学ぶ力の定着を目指し、ICTを活用した授業への改善をさらに進める。 ・金山町との連携を図り、地域との交流やボランティア活動を今まで以上に充実させることで、生徒一人ひとりの成長につなげる。
------------------	---